

JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニュースレター

第21巻第2号

発行日 2013年8月2日

発行 日本消費者行動研究学会事務局

第47回 消費者行動研究コンファレンスのお知らせ

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。
現在、コーディネーターの石崎徹先生（専修大学）、須永努先生（関西学院大学）、新倉貴士先生（法政大学）を中心としてプログラムを検討中です。詳細については次号で再度お知らせいたします。いましてばらくお待ちください。

開催日程：2013年10月26日（土）・27日（日）

開催場所：法政大学・市ヶ谷キャンパス（東京都千代田区）

自由論題報告者募集中！

秋のコンファレンスにおける自由論題研究報告の報告者を募集します。
募集の詳細については、JACS Web サイト（<http://www.jacs.gr.jp/>）をご覧ください。

第46回 消費者行動研究コンファレンス 開催報告

< 統一論題 > 意思決定の科学と消費者行動研究

去る2013年6月1日、2日の両日、愛知県名古屋市の名古屋市立大学・滝子キャンパスにおいて、第46回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。

今回のプログラムは、自由論題研究報告の比率を多く取った内容となっており、1日目の午前と午後の一部、2日目は終日に渡り、2会場を使って、ショートセッション26件、ロングセッション11件の発表がなされました。

1日目の午後、統一論題セッションでは、杉本徹雄氏（上智大学）の司会のもと、パネラーとして高橋英彦氏（京都大学）、坂上貴之氏（慶應義塾大学）、竹村和久氏（早稲田大学）より基調報告をいただき、指定討論者として守口剛氏（早稲田大学）、坂下玄哲氏（慶應義塾大学）が加わって熱のこもったシンポジウムが開催されました。決定や判断という現象は、さまざまな領域においてさまざまな方法を用いて研究が進んでいます。そうした最先端の研究動向に触れられる貴重な機会になったのではないのでしょうか。

- JACS 論文プロポーザル賞 優秀賞 -

「高製品関与状態で行われるバラエティ・シーキング：
情報探索を包含したプロセス概念としての位置づけ」

西原彰宏（亜細亜大学）

この度は、JACS 論文プロポーザル賞優秀賞をいただき、大変光栄に思っております。審査に携われた先生方、日頃からご指導いただいております先生方、コンファレンスの運営にご尽力下さいました方々にはこの場を借りて、厚く御礼申し上げます。

現在の私の主な研究領域は、消費者の高関与行動で、その中でも製品に対する関与水準が高い状態で行われるバラエティ・シーキングです。これまでの関与研究では、製品関与水準が高まると特定のブランドに対するコミットメントが高まっていくという見方が一般的でしたが、私の研究では製品関与水準が高まっても特定のブランドに収束していかない、あるいは多様なブランドに対して開かれていくといった側面に焦点を当てています。また一方で、バラエティ・シーキングは主に低関与行動としてみなされてきました。これに関してはいくつか理由がありますが、高関与の指標となっていたブランド・ロイヤルティの対比概念として、バラエティ・シーキングがバラエティ・スイッチ（ブランド・スイッチングが複数回に渡ってなされるといった現象）を指す概念として位置づけられたことが関係しています。

そして、私が今回報告させていただきましたテーマは、「高製品関与状態で行われるバラエティ・シーキング 情報探索を包含したプロセス概念としての位置づけ」でした。バラエティ・シーキングは、探索行動（exploratory behavior）の1つです。心理学領域における探索行動と内発的動機づけに関わる研究を踏まえると、探索行動としてのバラエティ・シーキングは、特定の製品カテゴリー内で消費者が多様性を求めて刺激（情報やブランド）を獲得しながらなされる認知的な行動で、その一連のプロセスの中でブランド・スイッチング（製品の

獲得）や、情報の獲得といった行動として顕在化すると考えられます。このような製品カテゴリー-特定の行動が行われるのも、個人特性と製品特性の相互作用の結果として自己関連性（認知に基づく関与）が形成され、製品カテゴリーに対する興味・関心あるいは覚醒が生じるためであると考えております。

今でこそ、大学に身を置いている私ですが、マーケティングそして消費者行動研究との出会いは、大学1回生の時に新倉貴士先生の商学演習を受講し、和田充夫先生が執筆された使用テキストの「(序章)マーケティング戦略への招待」の部分をプレゼンすることとなったことがきっかけです。今の私があるのは、学部、大学院のゼミを通してマーケティング、消費者行動を研究することの楽しさを教えていただいた2人の恩師のおかげであり、2人の恩師から研究者としての道に招待されたのだと勝手ながらに思っています。加えて、学部や大学院を通して、中西正雄先生、石原武政先生、山本昭二先生、井上哲浩先生、石淵順也先生、神戸大学の栗木契先生には大変お世話になりました。大学院時代に多くのゼミに顔を出していた私はマーケティングというカテゴリーの中で高関与型のバラエティ・シーキングを実践していたのかもしれない。

まだまだ研究者としては未熟な私ですが、今回の受賞を励みとして、今後も研究をより発展させ、学会報告などで皆様方に研究成果を報告させていただきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

2012 年度決算報告および 2013 年度予算案

2013 年 6 月 2 日に開催された役員会および会員総会において、2012 年度の決算報告および 2013 年度の予算案が下記のとおり承認・決定されました。ここにご報告いたします。

2012 年度決算報告	
〔収入の部〕	
1. 会費(2012 年度分)	5,745,000
学術会員	3,410,000
学術学生会員	260,000
個人賛助会員	195,000
法人賛助会員	1,350,000
滞納、超過入金等	530,000
2. 論文集販売	0
3. 前年度繰越金	24,103,236
4. 協賛金	0
合計	29,848,236

〔支出の部〕	
1. 印刷費	319,200
ニュースレター	61,200
会員名簿	258,000
2. 事務費	2,350,439
学会誌印刷・発送一式費	1,647,534
通信費	79,272
Web ホスティングサービス利用費	44,940
ホームページ英訳・リニューアル費	0
その他	578,693
3. 事業運営費	3,951,560
コンファレンス開催校補助費	400,000
学会誌作成費(査読謝礼費)	333,060
国際交流事業費	2,274,790
20 周年記念事業費	73,710
ワークショップ開催費	340,000
プロポーザル賞賞金	530,000
広報活動費	0
4. 予備費(出版システム開発費)	231,000
5. 次年度繰越金(論文集作成費他)	23,245,463
合計	30,097,662

2013 年度予算案	
〔収入の部〕	
1. 会費(2013 年度分)*	6,790,000
学術会員	4,530,000
学術学生会員	470,000
個人賛助会員	290,000
法人賛助会員	1,500,000
滞納、超過入金等	0
2. 学会誌販売	0
3. 前年度繰越金	23,245,463
4. 協賛金	0
合計	30,035,463

* 名誉会員 2 名は含まず

〔支出の部〕	
1. 印刷費	350,000
ニュースレター	100,000
会員名簿	250,000
2. 事務費	2,950,000
学会誌印刷・発送一式費	1,800,000
通信費	200,000
Web ホスティングサービス利用費	50,000
ホームページ英訳・リニューアル費	100,000
その他	800,000
3. 事業運営費	1,950,000
コンファレンス開催費	400,000
学会誌作成費(査読謝礼費)	300,000
査読システム運用費	250,000
国際交流事業費	400,000
20 周年記念事業費	0
ワークショップ開催費	0
プロポーザル賞賞金	500,000
広報活動費	100,000
4. 予備費	1,000,000
出版システム開発費	250,000
事務委託費	750,000
5. 次年度繰越金(論文集作成費他)	23,785,463
合計	30,035,463

上記の通り報告いたします。
上記の報告を適正なものと認めます。

事務局担当理事 久保田進彦 印
監事 桑原武夫 印

学会費の「銀行振込み」についてのお願い

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から(または組織名のみ)の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。就職や異動などの慌しさが一段落したらで結構ですので、お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記いただく方がおりますが、手続上、データベースの修正は年度末となってしまいます。変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。なおホームページからもお手続きいただけますので、ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

入会資格**[学会会員]**

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者(在籍経験者を含む)およびそれに準ずる者(文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等)。但し、学会会員 2 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

年会費

[学会会員] 10,000 円

(但し、大学院生は 5,000 円に減免)

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

日本消費者行動研究学会 (JACS) 事務局のご案内

(事務局) 青山学院大学 経営学部 久保田研究室
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
Email: kubota@aoyamagakuin.jp

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21 (IBM 内)
TEL: 03-5643-5450 FAX: 03-3662-3271 Email: jacs@jacs.gr.jp

< JACS Website >

<http://www.jacs.gr.jp/>